

QSK はまゆう Hamayuu 希望の風だより

社会福祉法人 はまゆう福祉会
〒807-0046
福岡県遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11
TEL: 093-201-6151 FAX: 093-201-8151
E-mail: hamayu-honbu@nifty.com
HP: http://www.hamayu-mizumaki.com/
No.11(vol. 38) 2024年6月1日

理事長挨拶 橋本 恭一



本年は、当会のはまゆうサポートセンターが平成26年4月1日に新築完成して10周年を迎えました。これまでご支援いただきました皆様、厚く感謝申し上げます。令和5年度は、5月からコロナが5類に変更されインバウンド需要の増加を始め人流が増えたことが影響して当会の仕事量も増え、利用者の通所率も増えた事で黒字決算になりました。また利用者の工賃もわずかではありますが上げることができました。

令和6年度の報酬改定は、福祉サービス事業にとつては、今後のあり方を考え直す機会だと捉え、当会においては、その対策として新たに職員を採用し職員配置を厚くしました。また利用者さんや保護者の皆様に対して説明会を行い、短時間利用者を5割以下におさえて、報酬の減算にならないようにしました。その他様々な対策に取り組んでいます。今回の報酬改定で感じるのは、昨年8月にスイスのジュネーブで開催された国連の障害者権利条約の日本の初審査を踏まえた総括所見(勧告)が大きく影響しているのではと考えられますので、当会もこれまでの支援のあり方を考え直す時が来ていると思います。

就労継続支援B型事業は、就労と居場所の場で良いと思っただけで、そうではなく社会で一般の人と一緒に働けるようにしていくことが望ましいのだと思います。しかし、いきなりは出来ません。幸いに当会は、多機能型施設で地域活動支援センターから就労移行支援事業まであり、就労までステップアップできます。

そのためには、もっと一人一人の職員がスキルを高めて国連が標榜するものに近づけていかなければなりません。当会の理念にも掲げている通り、どこまでも今いる利用者を大切に、寄り添いの心で共に歩み、関係各所との緊密な連携をとりながら支援に努力してまいります。

JRや私鉄各社が精神障がい者にも交通運賃割引実施を決定

去る4月11日精神障がい者運賃割引を適用していなかったJR、私鉄大手が制度導入を発表しました。これで令和7年4月にはJRグループと大手私鉄16社(東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京浜東北線、相模線、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄)が揃って、精神障がい者の運賃割引を導入することになります。

当事者、家族をはじめ多くのみなさんの声と国土交通省の粘り強い働き掛けも含め、鉄道各社のご理解のもとこの日を迎えることができました。

私たちの連合会である「みんなねっと」や「福精連」では、10年前から「所得保障観点からだけでなく、精神障がい者のみが制度から除かれている状態は、自分たちの存在が否定されており、尊厳をも踏みにじることであり、偏見差別を助長することにもなる」と訴えてきました。

平成29年4月から、西鉄が実施。その後各航空会社も実施し、衆参両院の国土交通委員会でも採択、当時の赤羽国土交通大臣から「真の共生社会実現に向けた新たなバリアフリーの取組」という大臣指示が発表され、近鉄、京急、名鉄、南海、京王などの私鉄大手も実施されました。

今後は、100km以下の同伴条件も廃止し、全ての手帳所持者が割引の対象となるよう制度の改善を求めてまいります。

第10回 はまゆう講演の集い シンポジウム ～ 精神障がいがある人の家族の思い ～

去る2月4日、はまゆう福祉会主催の第10回はまゆう講演の集いをいきいきホールにて開催しました。

地元の松本県議会議員、水巻町社会福祉協議会の松津会長はじめ近隣地域の県議会議員、町福祉課職員並びに郡内4町の民生委員・児童委員協議会の皆様や保護司会の皆様を含め、1000名の方々にご参加いただきました。

今回は、シンポジウム形式で行い、「精神障がいがある人の家族の思い」をテーマに、西南女学院大学保健福祉学部教授の今村浩司先生をコーディネーターに迎え、はまゆう家族会会員3名による「親なきあとを考える」「精神科医療に思うこと」「当事者の生活困窮の現状を考える」「親あるうちにやることを考える」という4つのテーマで、それぞれ発表。

発表者が話す中で、当時のつらさや苦しさがあらためて鮮明に思い出されるのでしよう、思わず声を詰まらせることが度々あり、聴衆の方々もおもわず涙が溢れをされる場面もありました。家族関係者以外、このような当事者の家族の思いを聞く機会は、なかなかありませんので、今回参加された方々の心に何かしら残ったのではないのでしょうか。

今回のように、精神障がいがある人の家族の思いを聞ける機会が増えれば、当事者やその家族への理解がより深まり誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会への実現の一歩になると思います。



地域活動支援センターのクリスマス会

はまゆうサポートセンターでは、毎年12月にクリスマス会を開催しています。コロナが流行する前は、全事業合同でホールを借りて60人以上の規模で開催していましたが、現在はコロナ感染を防ぐため、事業ごとに開催しています。今回は地域活動支援センターのクリスマス会をご紹介します。

利用者の皆さんが一番楽しみにしている行事です。11月初旬から利用者さんを中心にゲームの種類や景品を考え、購入からラッピング等の作業まで、手分けして準備をします。昨年のゲームは射的や輪投げ、ビンゴゲームなど全部で5種類。それぞれに景品を用意し、最後のビンゴゲームでは自分が希望した豪華景品がもらえることあって、皆さん最後まで集中して頑張っておられました。

お昼は職員が複数のお店の中から選んだクリスマスランチと焼き菓子で大満足の様子。両手に沢山の袋を下げて笑顔で帰って行かれました。



はまゆう家族会賛助会加入のお願い

はまゆう家族会の活動に、ご理解とご協力をいただける方を募っています。

＜年会費＞ 個人様 1口 3,000円
団体様 1口 10,000円

お申込みは、はまゆうサポートセンター事務局へお問い合わせください。
TEL: 093-201-6151

御礼
永瀧 静雄 様(元遠賀保護区保護司会会長)

家族電話相談(福岡県委託事業)

☎家族のための電話相談を受け付けます。☎

精神障がいのある家族を、家族だけで抱えていませんか? 同じように悩み、いろいろなことを経験してきた家族が相談に応じます。

【対象者】
心の病(統合失調症、うつ病、発達障がいなど...)を持つ方のご家族。

電話番号: 080-1729-1955
相談日時: 毎週金曜日 13:00~16:00
※秘密は、守ります。地域福祉情報も提供します。

【編集】 社会福祉法人はまゆう福祉会 〒807-0046 福岡県遠賀郡水巻町吉田西3丁目19-11
【発行】 QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0068 福岡県福岡市東区社領1丁目12番4号
【定価】 100円 購読料は会費等に含まれます。



はまゆうサポートセンターができて10周年を迎えました



地域活動支援センター

心が元気になる所です。私もがんばっています。(Y.H)

今でも相変わらず、はまゆうでがんばります。これからもよろしくお願いします。ペンネーム 加藤 銀

グループホーム

グループホームに入所し、就職して14年になりました。これからもがんばります。(H.N)

利用者さんを募集しています。

あゆみ

- 昭和63年 4月 「遠賀・中間地域精神障がい者家族会」を発足し、民家の一室を借用して日中の居場所となる小規模作業所を開設
- 平成 5年 4月 「はまゆう共同作業所」を開設
- 平成17年 4月 「はまゆう共同作業所分室」を開設
- 平成18年 1月 「特定非営利活動法人はまゆう会」設立
- 平成18年 9月 「グループホームはまゆう」を開設
- 平成19年 4月 共同作業所から「地域活動支援センターはまゆう(Ⅲ型)」(遠賀郡四町の委託事業)に移行
- 平成20年 4月 就労継続支援B型「ワークはまゆう」を開設
- 平成22年 1月 就労継続支援B型「ワークはまゆう岡垣」を開設
- 平成24年 1月 「社会福祉法人はまゆう福祉会」を設立
- 平成24年 6月 就労継続支援B型「ワークはまゆう立屋敷」を開設
就労移行支援「ワークはまゆう岡垣」を開設
自立(生活)訓練を開設
- 平成26年 4月 「多機能型施設 はまゆうサポートセンター」新築落成
- 平成28年12月 天皇誕生日記念御下賜金を拝受
- 平成30年10月 「はまゆう家族会」が厚生労働大臣表彰を授与
- 令和 2年10月 「はまゆうサポートセンター」が福岡県地域精神保健協議会表彰を授与

就労移行支援事業

まずは、はまゆうサポートセンター10周年おめでとうございます。これもひとえにスタッフの皆様の温かい支援のたまものだと思います。メンバーとは、この10年間振り返ってみると、うれしい事、かなしい事、沢山の出会いと別れがありました。でも僕も含め皆さんも、いろいろな事があるたびに、少しずつ成長したんじゃないかなと思います。僕は、今就労継続支援B型事業から就労移行支援事業に移動し、就職を目指して訓練を受けています。そんな僕からエールを送ります。プレー・プレーはまゆう！ガンバレ・ガンバレはまゆう！ (M.M)



就労継続支援B型事業

私は、はまゆうで仕事して10年ぐらいになります。自分でわからないくらいにアツという間に時間が経ちました。人間関係が難しくイヤなこともあったけど、今まで続けられました。将来的には、A型や就職ができればいいです。(I.F)



はまゆうサポートセンター



はまゆう共同作業所、はまゆうサポートセンターで、利用者の方々と20年くらいの間に、レクリエーションやスポーツ大会に行ったりして、ふれあうことや交流があり、人生の経験ができて良かったです。ありがとうございました。(S.A)



はまゆう後援会



平成27年5月16日には、当時水巻町民生委員・児童委員協議会会長の副田泰弘氏の呼びかけで、遠賀郡4町の有志の皆様により後援会が発足されました。その後、毎年餅つき大会を開催していただき利用者や家族会の皆さんや地域住民の皆さんと楽しいひとときを過ごして、利用者の皆さんは、毎年その日が来るのを楽しみにしていましたが、コロナ禍で中断してしまいました。本年から再開する予定です。また、クリスマス会やスポーツ大会には、寄付金をいただいています。後援会の皆様、本当にありがとうございます。

家族支援事業 はまゆう家族会

私たちは、支えあい、わかちあい、学びあい、働きかけを基本に明るく楽しく活動しています。



はまゆうサポートセンターが新築落成してから今年で10周年を迎えました。新しい施設ができた喜びの中、皆さんでテープカットをしたことが思い起こされます。みんな元気で、これからもそれぞれの希望の道を歩んで行きましょう。

